

研究課題名	看護師による急性期脳卒中患者の嚥下機能評価における ASAP (Assessment of Swallowing Ability for Pneumonia) の活用
実施責任者	所属・職名： 2 東病棟 看護師長
	氏名： 横井 博子
研究の概要	<p>脳卒中患者は高頻度で摂食嚥下機能障害を呈し、低栄養や誤嚥性肺炎が予後不良の原因となる。ASAP は簡便かつ迅速に嚥下機能の評価することが可能な方法である。急性期脳卒中患者を対象に、看護師が ASAP を用いて嚥下機能の評価を行うことで、入院初期より安全に経口摂取を再開するまでの時間を短縮し、嚥下機能の低下を防止する可能性を検証する。本研究では、ASAP が効率的かつ安全な患者ケアにどのように寄与するかを明らかにする。</p>
対象となる個人情報	<ul style="list-style-type: none">①患者情報（性別、身長、体重、基礎疾患）②生体情報（血圧、心拍数、体温、呼吸数 ほか）③治療内容（酸素の使用、人工呼吸器の使用、薬剤など）④入院経過⑤摂食嚥下評価、栄養状態評価⑥入院後誤嚥性肺炎診断の有無

実施の期間	西暦 2024年 4月 1日より
	西暦 2025年 3月 31日まで
研究対象	上記期間中に 2 東病棟へ脳卒中により入院治療となった患者様。